

目次

第1章 はじめに—— 1

- 1-1 なぜ Communications に努力するのか—— 1
自然科学者として／市民として／現在の scientific communications の問題
とそれに対する対策／本書の構成
- 1-2 書くこと，話すこと，その違い—— 6

第2章 文章の書き方—— 13

- 2-1 NIST なんて知らない—— 13
 - a か an か／略語と造語／acronym と発音
- 2-2 数えられる名詞—— 15
文脈から判断する
- 2-3 日本人の名前の書き方—— 19
名前はフルネームで書こう／ヘボン式は万能か／姓，名の順に書くには
- 2-4 月と六ペンス—— 21
and, or, but／as well as
- 2-5 単数と複数—— 26
学問の名前／単数と複数の区別は内容から／people と person／データの取扱い
- 2-6 人称代名詞—— 30
I か We か／最適の表現を見つけよう／you と they は御法度？
- 2-7 簡潔な表現—— 33
非人称名詞の主語／ぜい肉をそぎ落とす／“冗長さ” の効果
- 2-8 現在形と過去形—— 37
report, commentary／実験・観測の記述／理論の論文
- 2-9 私はコーヒーです—— 41

be 動詞の意味をしっかりと考えよう／like と as／誤解を招く文／いくつもの形容詞を重ねるとき／論理的に不必要な繰り返し／大文字と小文字／英語と日本語は似ている？

2-10 関係代名詞の限定的用法と非限定的用法—— 47

コンマ一つで意味が大いに変わる文／限定的用法と非限定的用法／限定的用法の形／非限定的用法の形

第3章 主に科学論文に関すること—— 51

3-1 業界用語—— 51

jargon／legalese／時と場合をわきまえて

3-2 数式も文章の一部—— 55

定義はきちんと書こう／数式と句読点／数式の引用

3-3 大統領は何代目？—— 58

数量の表現／第三の男／日にちの書き方

3-4 論文を投稿する—— 61

まず推敲／非公式な査読者／投稿案内を熟読／Revise rather than rebut.／独創的な論文のとき

3-5 超伝導と超電導—— 65

series / function / field

3-6 単位はわかりやすく—— 69

国際単位系／ギガとピリオン

3-7 記号は両刃の剣—— 74

数学的な記号／添字あれこれ

3-8 文献の引用—— 78

なぜ引用が必要か？／電子ボルトの3乗！？／文献のリストの作り方

3-9 起承転結—— 83

abstract／introduction／本論／論理的な構成／必要・十分な量の内容／conclusion／起承転結

3-10 グラフの作り方—— 88

線の太さ、字の大きさ／グラフの座標軸の目盛り／caption の書き方／論文中の図と口頭発表で使う図

3-11 数式、記号、術語などの読み方—— 92

大きな数と小さな数／数式、記号等の読み方／数式の読み方／ギリシャ文字の読み方／雑誌名の略号／人名に由来する術語

第4章 単語の使い方—— 97

4-1 いまさら “Japanese English” —— 97

和製英語がいっぱい／世界で通用する和製英語

4-2 絶対的な意味をもつ言葉—— 100

完全・完結・完璧／意味の絶対性／very basic は baby talk

4-3 もったいぶった言葉—— 103

簡潔な表現に／pretentious words は意味が狭い

4-4 ハイフンに御用心—— 107

交通標識と句読点／ハイフンと発音／ハイフンで意味が変わる／単語はできるだけ切らずに

4-5 似て非なるもの—— 111

alternate, alternative / complement, compliment / but, however

4-6 再び似て非なるもの—— 115

silicon, silica, silicone / moral, morale / imaginary, imaginative / intelligent, intellectual, intelligible / observation, observance / discrete, discreet / ensure, insure, assure / personal, personnel / principle, principal / able, capable

4-7 知る、理解するなど—— 120

意識と無意識／“知る”と“わかる”／理解の度合い

4-8 太陽系はどこまで含む—— 124

“含む”の nuance / アメリカ人も間違える / 構成要素を主語にすると

4-9 アメリカン vs. ブリティッシュ—— 127

どこの国の雑誌か / 綴りも発音も句読点も違う

4-10 外来語あれこれ—— 130

外来語のルーツ / ラテン語はイタリックで / 便利なラテン語の略語 / アクセント記号に注意

4-11 ニュアンス—— 135

冗長／“考える”にもいろいろある／露骨にいえないときは

4-12 難しい単語、やっかいな単語—— 138

flammable, inflammable / overlook, oversee / defer, deference / involve /

modality/moiety/流行り言葉

4-13 接尾辞と接頭辞—— 141

表現を豊かにする接尾辞/“不”と“非”を意味する接頭辞

4-14 合成語—— 145

合成語の便利さ/合成語の形

4-15 “核”になる言葉—— 147

nucleus/spectrum/exact, accurate, precise/声に出して読んでみよう

4-16 いろいろな“同じ”—— 151

same, identical, similar/agree, coincide/consistent, compatible

4-17 “違い”のわかる科学者—— 155

difference, discrepancy, deviation/different than が適切な場合/disagree/
distinct, distinctive, distinguished/discriminate

第5章 英語で語ること—— 161

5-1 科学の口頭発表はやさしいと考えて始めよう—— 161

5-2 勘所ふたつみつ—— 165

5-3 短い講演—— 169

5-4 長い講演—— 173

5-5 Poster session —— 178

5-6 講義—— 183

5-7 会議の座長や組織者を勤めるとき—— 189

5-8 管理・運営のための英語—— 195

5-9 座談—— 198

5-10 名名列伝—— 204

参考文献——211

6-1 参考文献（英語）—— 211

6-2 参考文献（日本語）—— 213

あとがき—— 215

欧文索引—— 217

和文索引—— 222

著者紹介—— 224